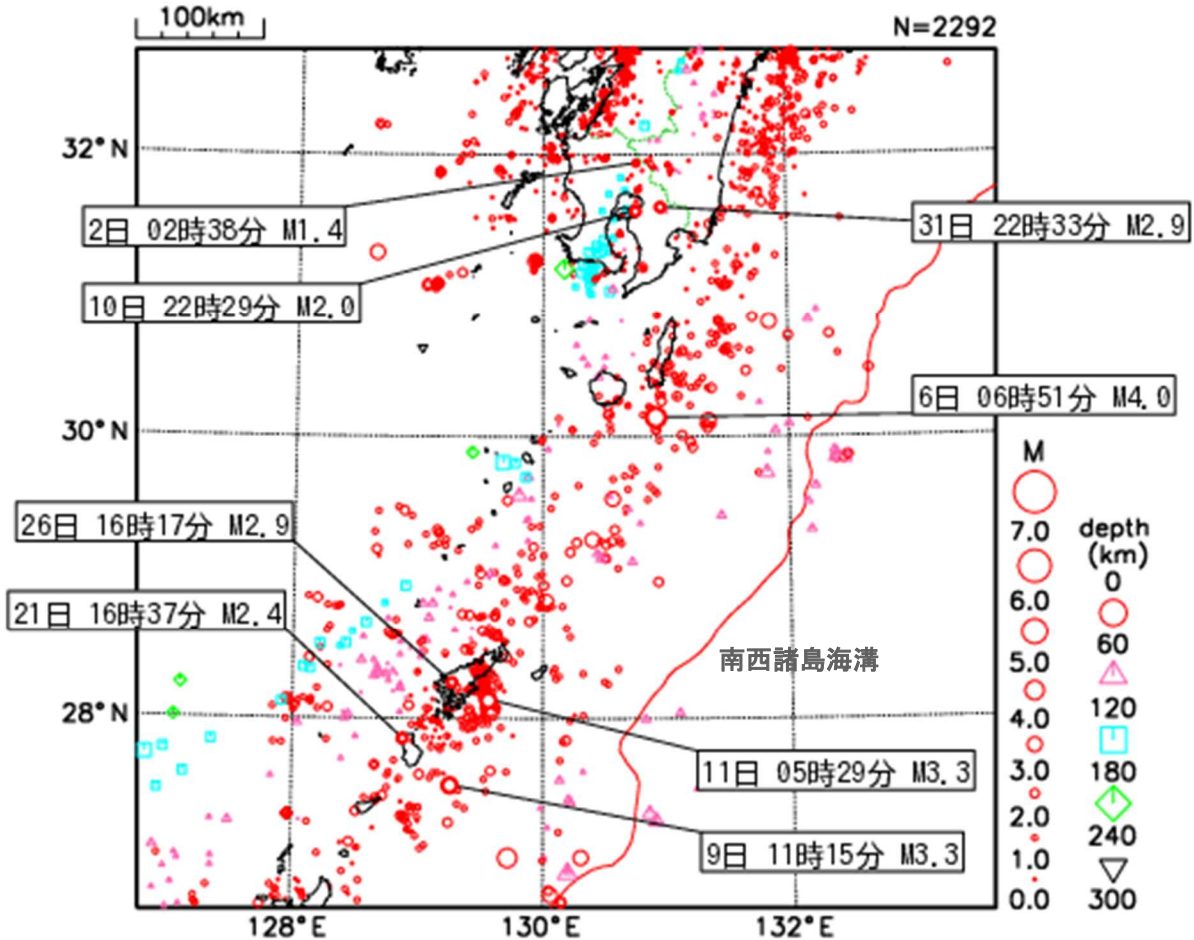


鹿児島県の地震活動概況（2022年7月）

令和4年8月5日
鹿児島地方気象台

概要

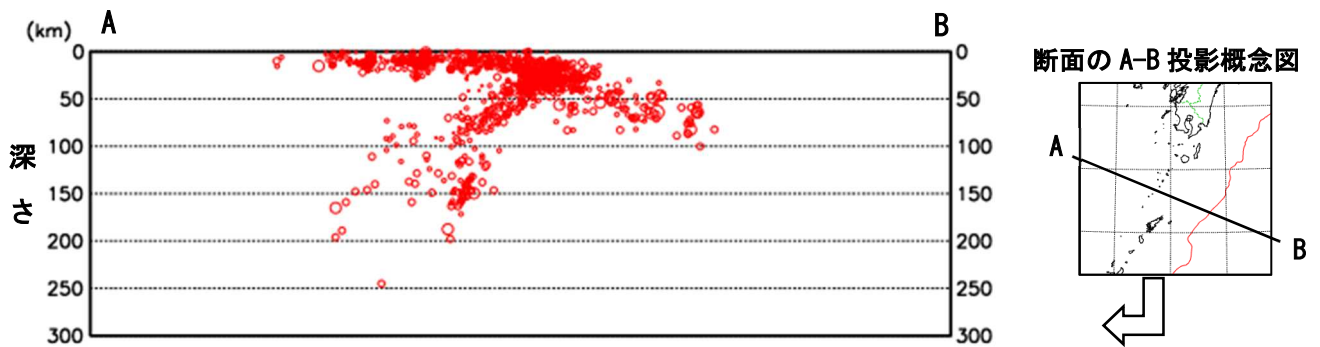
7月に鹿児島県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震の回数は8回でした（6月は14回）。



震央分布図（2022年7月1日～31日、深さ0～300km、M0.0以上）

地震の規模（マグニチュードM）は記号の大きさを、震源の深さを記号と色で示しています。

図中の枠内は、県内で最大震度1以上を観測した地震の発生日時とマグニチュード（M）を示しています。



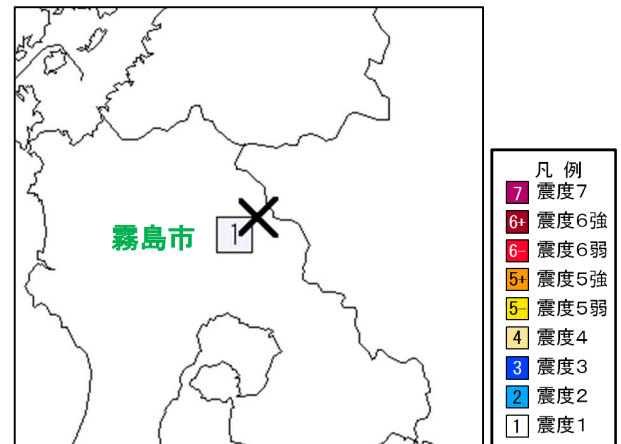
断面図（右図のA-B投影、深さ300km以浅）

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

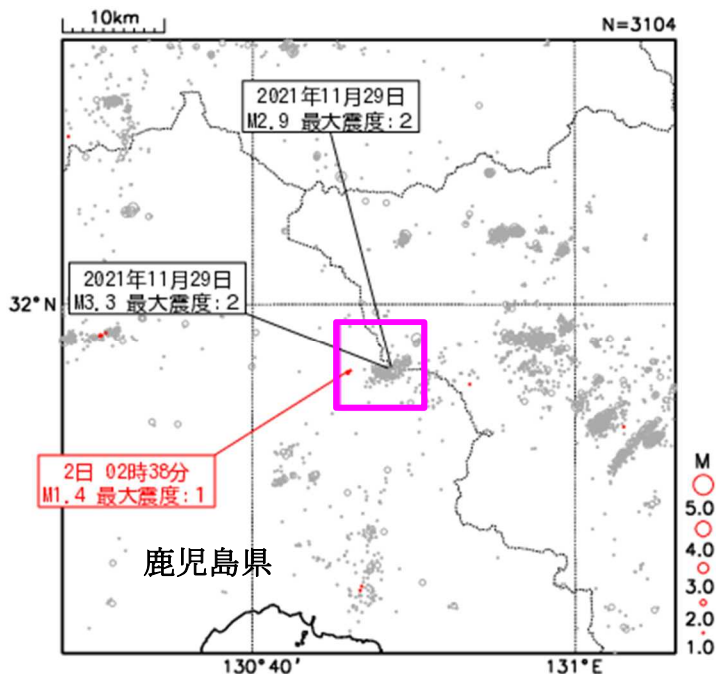
鹿児島県薩摩地方

2日02時38分に発生した M1.4の地震（ごく浅い）により、霧島市で震度1を観測しました。

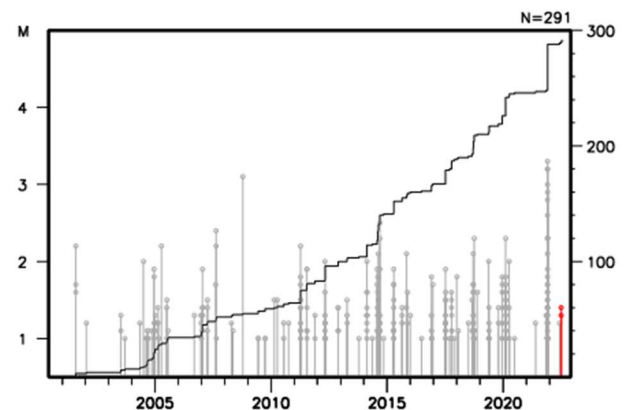
この地震の震源付近（震央分布図矩形領域）は、日頃から地震活動が見られる領域で、直近では2021年11月29日に発生した M2.9の地震により、霧島市、伊佐市、湧水町で震度2を観測しており、同日にはほぼ同じ場所で震度1以上を観測した地震が10回発生しています。これらのうち最大規模の地震は M3.3の地震で、県内では、霧島市、伊佐市、湧水町で震度2を観測しています。



震度分布図（観測点別、×：震央）
2日02時38分 M1.4



震央分布図
(2000年10月1日～2022年7月31日、
深さ0～20km、M1.0以上)
赤色は7月に発生した地震

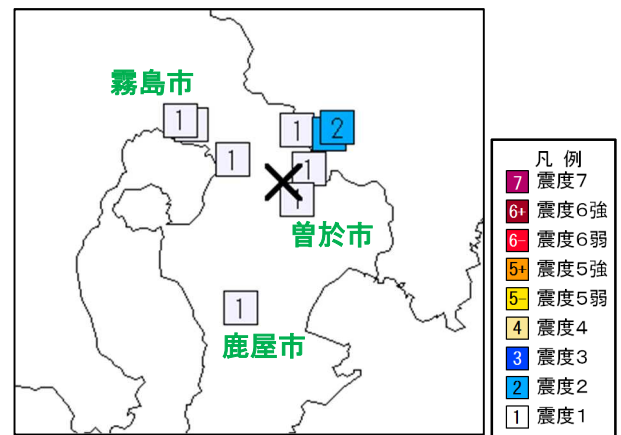


左図矩形領域の地震活動経過図
および回数積算図

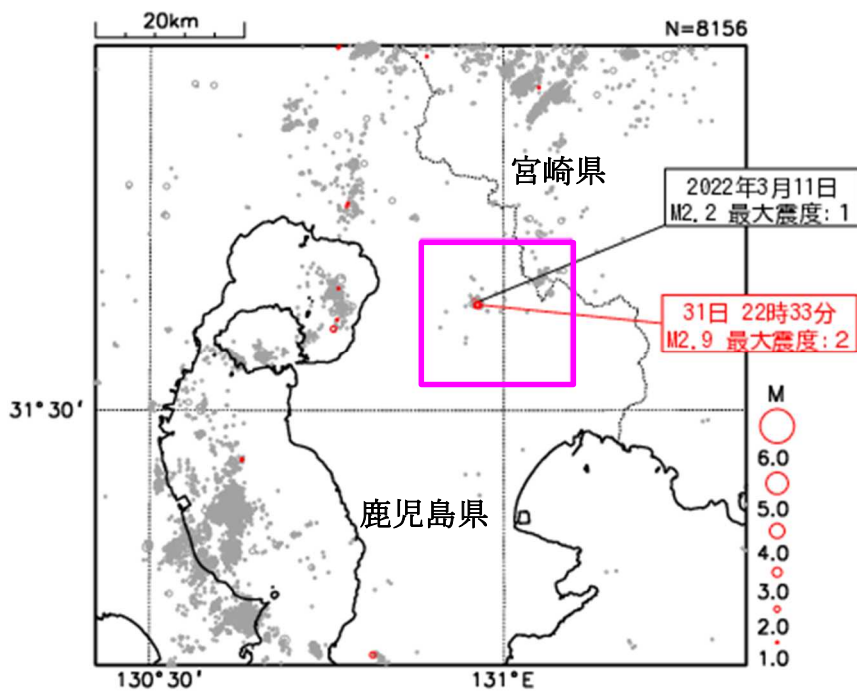
鹿児島県大隅地方

31日22時33分に発生した M2.9の地震（深さ7km）により、宮崎県都城市で震度2を観測したほか、鹿児島県の霧島市、鹿屋市、曾於市で震度1を観測しました。

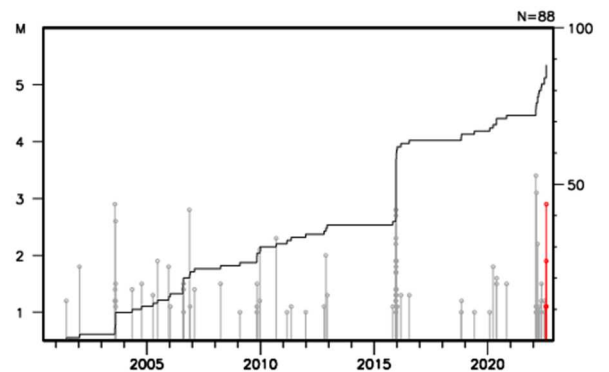
この地震の震源付近（震央分布図矩形領域）はあまり地震活動が見られない領域で、最近では2022年3月11日に発生した M2.2の地震（深さ7km）により、県内では、曾於市で震度1を観測しています。



震度分布図（観測点別、×：震央）
31日 22時 33分 M2.9



震央分布図
(2000年10月1日～2022年7月31日、
深さ0～20km、M1.0以上)
赤色は7月に発生した地震

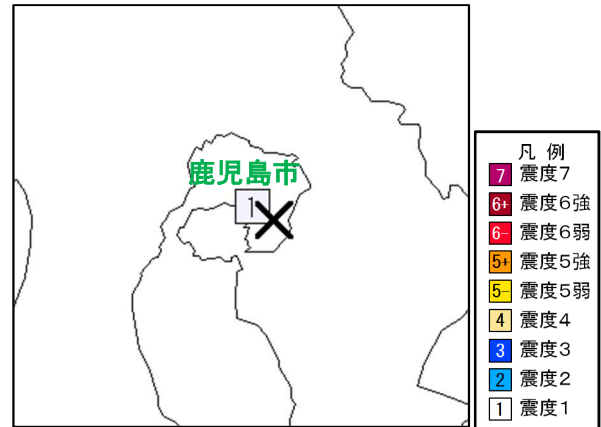


左図矩形領域の地震活動経過図
および回数積算図

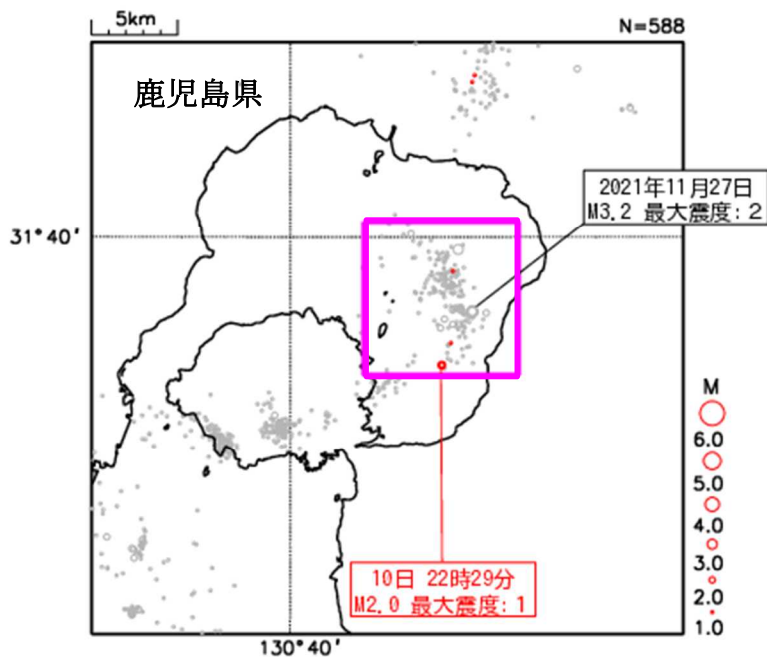
鹿児島湾

10日22時29分に発生した M2.0の地震（深さ3km）により、鹿児島市で震度1を観測しました。

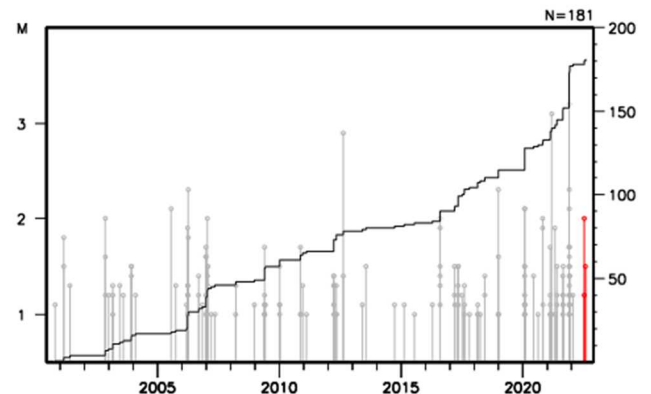
この地震の震源付近（震央分布図矩形領域）は日頃から地震活動が見られる領域で、最近では2021年11月27日に発生した M3.2の地震（深さ4 km）により、鹿児島市で震度2を観測しています。



震度分布図（観測点別、×：震央）
10日22時29分 M2.0



震央分布図
(2000年10月1日～2022年7月31日、
深さ0～20km、M1.0以上)
赤色は7月に発生した地震

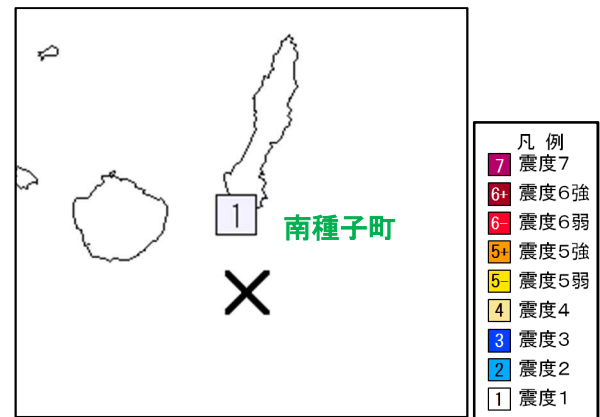


左図矩形領域の地震活動経過図
および回数積算図

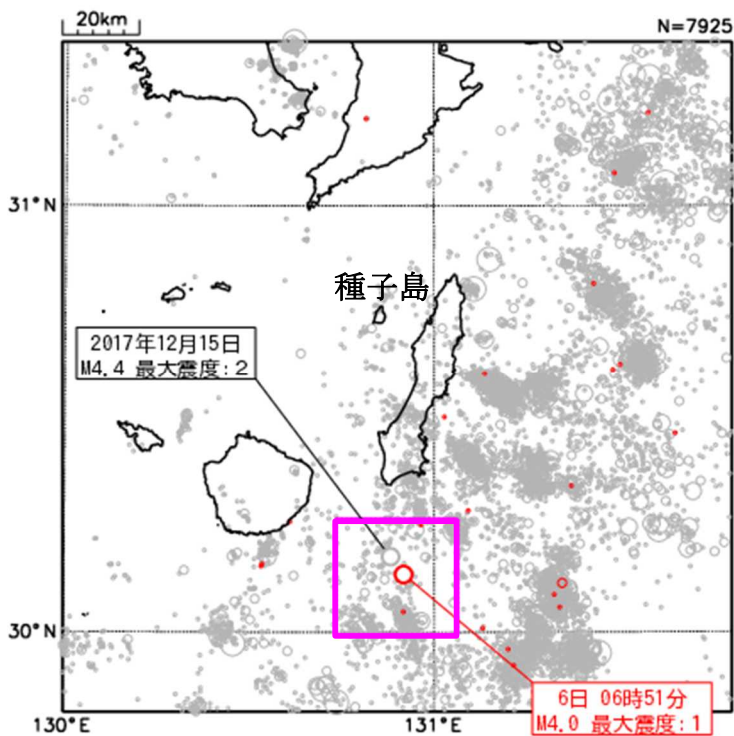
種子島近海

6日06時51分に発生した M4.0の地震により、南種子町で震度1を観測しました。

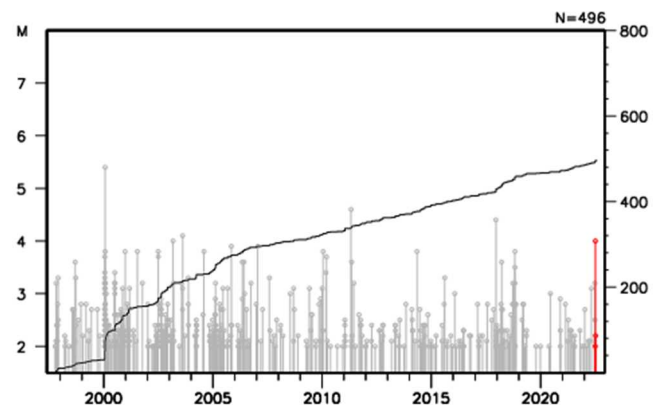
この地震の震央付近（震央分布図矩形領域）は M3.0以上の地震活動が時々見られる領域で、直近では2017年12月15日に発生した M4.4の地震により、南種子町、屋久島町で震度2を観測しています。



震度分布図（観測点別、×：震央）
6日06時51分 M4.0



震央分布図
(1997年10月1日～2022年7月31日、
深さ0～50km、M2.0以上)
赤色は7月に発生した地震



奄美大島近海

【9日11時15分の地震】

9日11時15分に発生した M3.3の地震により、伊仙町で震度1を観測しました。

この地震の震央付近（震央分布図領域 a）は、日頃から地震活動が見られる領域で、最近では2021年8月25日に発生した M4.9の地震により、奄美市、瀬戸内町（請島）、天城町、伊仙町で震度2を観測しています。

【11日05時29分の地震】

11日05時29分に発生した M3.3の地震より、奄美市、瀬戸内町（請島、加計呂麻島、与路島含む）で震度1を観測しました。

この地震の震央付近（震央分布図領域 b）は、日頃から地震活動が見られる領域で、最近では2022年5月18日に発生した M3.3の地震により、奄美市、瀬戸内町（請島、加計呂麻島、与路島含む）で震度1を観測しています。

また、2001年12月9日に発生した M6.0の地震では、住用町で震度5強を観測し、文教施設1棟、病院1箇所のほか、住家一部損壊1棟等の被害が生じています（被害は総務省消防庁による）。

【21日16時37分の地震】

21日16時37分に発生した M2.4の地震により、天城町で震度1を観測しました。

この地震の震央付近（震央分布図領域 c）は、日頃から地震活動が見られる領域で、最近では2022年6月24日に発生した M2.5の地震により、天城町で震度1を観測しています。

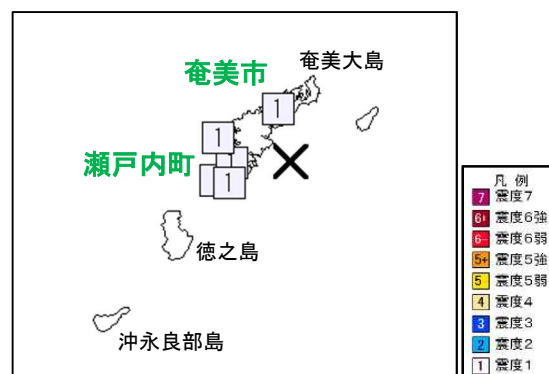
【26日16時17分の地震】

26日16時17分に発生した M2.9の地震により、瀬戸内町で震度1を観測しました。

この地震の震央付近（震央分布図領域 d）は、日頃から地震活動が見られる領域で、最近では2022年6月20日に発生した M3.0の地震により、奄美市で震度1を観測しています。



震度分布図 (観測点別、×:震央)
9日11時15分 M3.3



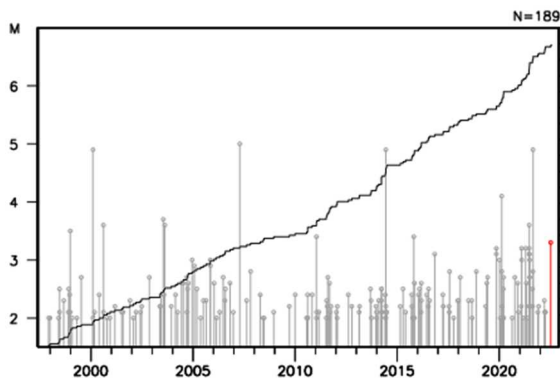
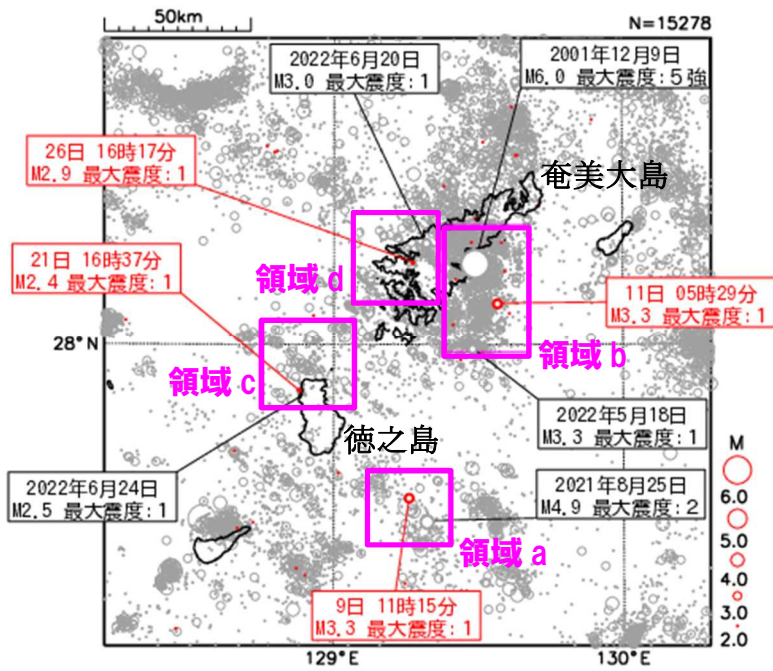
震度分布図 (観測点別、×:震央)
11日05時29分 M3.3



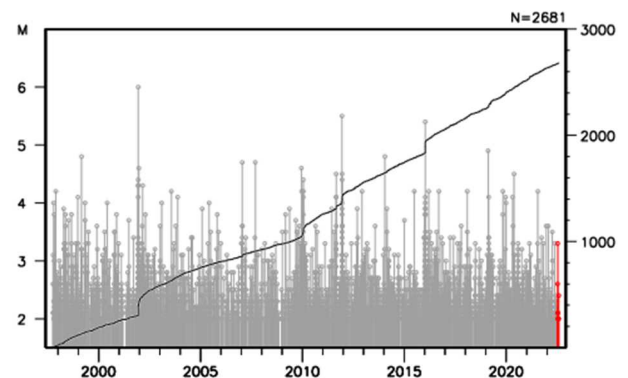
震度分布図 (観測点別、×:震央)
21日16時37分 M2.4



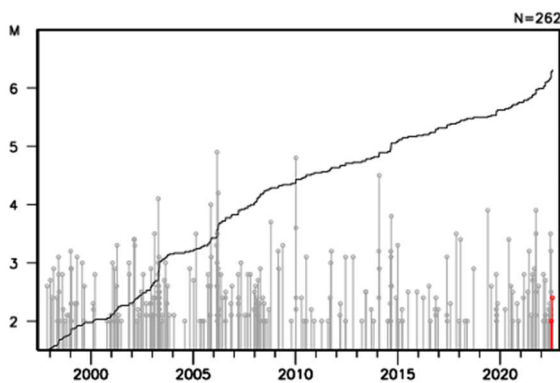
震度分布図 (観測点別、×:震央)
26日16時17分 M2.9



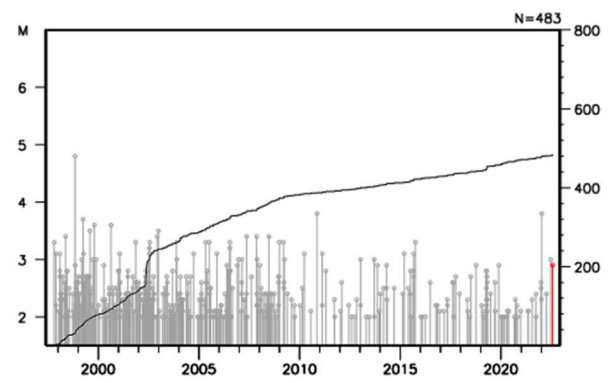
震央分布図領域 a の地震活動経過図
および回数積算図



震央分布図領域 b の地震活動経過図
および回数積算図



震央分布図領域 c の地震活動経過図
および回数積算図



震央分布図領域 d の地震活動経過図
および回数積算図

鹿児島県内で震度1以上を観測した地震の表（7月1日～31日）

震源時（年月日時分） 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニ チュード
2022年07月02日02時38分 震度 1：霧島市横川町中ノ＊	鹿児島県薩摩地方	31° 56.3' N	130° 45.9' E	0km	M1.4
2022年07月06日06時51分 震度 1：南種子町西之＊	種子島近海	30° 08.1' N	130° 55.0' E	19km	M4.0
2022年07月09日11時15分 震度 1：伊仙町伊仙＊	奄美大島近海	27° 31.7' N	129° 15.6' E	33km	M3.3
2022年07月10日22時29分 震度 1：鹿児島市桜島赤水新島＊	鹿児島湾	31° 35.9' N	130° 45.5' E	3km	M2.0
2022年07月11日05時29分 震度 1：瀬戸内町西古見, 瀬戸内町請島＊, 瀬戸内町加計呂麻島＊, 瀬戸内町与路島＊ 奄美市名瀬港町	奄美大島近海	28° 07.6' N	129° 33.9' E	30km	M3.3
2022年07月21日16時37分 震度 1：天城町平土野＊	奄美大島近海	27° 51.5' N	128° 52.9' E	8km	M2.4
2022年07月26日16時17分 震度 1：瀬戸内町西古見	奄美大島近海	28° 15.2' N	129° 16.4' E	19km	M2.9
2022年07月31日22時33分 震度 1：霧島市隼人町内山田, 霧島市国分中央＊, 霧島市福山町牧之原＊, 鹿屋市札元＊ 曾於市大隅町中之内＊, 曾於市末吉町二之方＊, 曾於市財部町南俣＊	鹿児島県大隅地方	31° 37.7' N	130° 57.7' E	7km	M2.9

- ・「＊」の付いた地点は、鹿児島県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。
- ・地震の震源要素（緯度・経度・深さ・M）は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

「防災の日」と「防災週間」

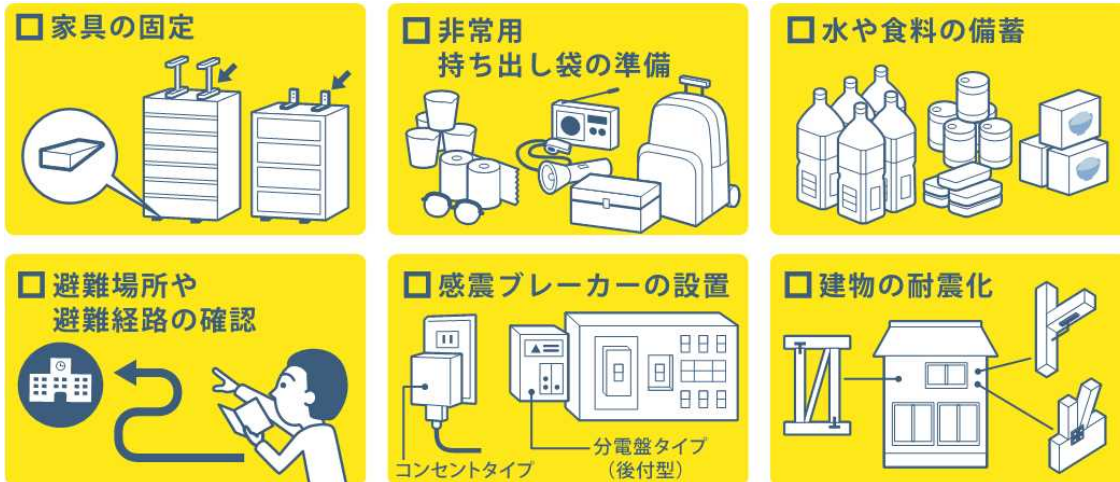
～いつかくる災害に備えて～

9月1日は「防災の日」、8月30日～9月5日は「防災週間」です。

本期間は、国や防災関係機関をはじめ広く国民が、地震や津波等の災害についての認識を深め、これに対する備えを充実強化し、災害の未然防止と被害の軽減に資する目的で設けられています。この機会に、身近で起こり得る災害を再確認するとともに、日頃からの備えや大きな地震が起こった時のとるべき行動を確認するようにしましょう。

○日頃からの備え

地震への日頃からの備えには、「家具の固定や配置の見直し」「水や食料等の備蓄」「避難場所や避難経路の確認」「建物の耐震診断や耐震化」などがあります。自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう。



○とるべき行動

地震による強い揺れを感じた時や緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずに身の安全を図りましょう。具体的な行動は周囲の状況によって異なります。日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。

家庭では



- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外に飛び出さない
- 無理に火を消そうとしない

人が大勢いる施設では



- 施設の係員の指示に従う
- 落ち着いて行動し、あわてて出口に走り出さない

屋外（街）では



- ブロック塀の倒壊等にご注意する
- 看板や割れたガラスの落下にご注意する

いざという時の行動例

その他の行動例や緊急地震速報については気象庁のホームページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eeew/data/nc/koudou/koudou.html>